

|             |   |
|-------------|---|
| <p>議題 1</p> | <p>(仮称) 越木岩センター整備事業 (設計段階協議)</p>  |
| <p>協議事項</p> | <p><b>【意匠全般について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きく道路に面して配されたガラスの開口は、軽やかな印象を与えるとともに、施設利用者の生き生きとした活動がまちに滲み出るといった効果を持つ反面、運転者が気を取られたり、内部の煩雑さが目立ってしまうたりする可能性もあるため何らかの対策が必要。</li> <li>・壁の左官調塗材仕上げは凹凸があり汚れが付きやすいと思われるため、外壁の色を濃くして汚れを隠すような表面的な措置で終わらせるのではなく、水切り等で雨垂れの跡が壁面に残りにくい納まりにするような根本的な措置を検討してほしい。</li> </ul> <p><b>【外構計画について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北東角のデッキを含めた広場については、座る場所・活動する場所・敷地内外で流動する場所等を丁寧に見極め、以下の点に留意しながら、限られたスペースの中で住民の方が使いやすいものとしてほしい。             <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ デッキや植栽帯による高低差については、目的にあった高さの設定やそもそもの必要性の検討。</li> <li>➢ ベンチについては、可動性のあるものの採用やデッキの高低差を利用した代替物の利用等による、スペースの有効利用。</li> </ul> </li> <li>・地域に開放されているが故にこどもの交差点への飛び出しなどの危険性がある。緑地計画などで、こども達が入り出す動線を整理する等、安全性も担保してほしい。</li> </ul> <p><b>【植栽計画について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・苦楽園周辺の植栽は和洋折衷であり、また、今回計画地では常緑樹が多いため、メインストリートに面する植栽帯 D・E・F には和風にも洋風にも使用できるような樹種、四季を感じる樹種選定をしてもよいのではないかと。</li> </ul> <p><b>【色彩計画について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基調色としての高明度の白色は特に塗装の場合色彩設計上扱いが難しく、突出して見えやすい。汚れ対策の観点からも明度 8 以下程度に抑えてはどうか。</li> <li>・縦要素の分節によってうまく繋がれている建物全体の印象が、1、2 階を区切る帯状スラブの白色により分断されてしまう懸念がある。</li> </ul> |

|                        |   |
|------------------------|---|
|                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・3階の後ろに控えた講堂の部分は、ボリュームを分ける意図で彩度や明度を抑える工夫もあるのではないかと。</li> <li>・今回計画の白は 5Y8.5/0.5 という Y 系のオフホワイトを選定しているが、ガラスを通して内部に見える木材の部分や既存のタイルとの相性を考えると、Y系の中でもより YR系に近い 2.5Y系程度、ほのかにベージュ味のあるホワイトの方が良いと思われる。</li> </ul>             |
| <p>その他<br/>(質問・意見)</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路が交差する場所で形状がいびつな非常に難しい敷地だが、縦ストライプを共通のデザインとしてすべての壁面で統一感を出しており、教科書のモデルとなるような良いデザインだと感じた。また人々のアクティビティが主役となるようなデザインになっているように思う。</li> <li>・外構部分の樹種やデザイン等についても、地域の特性を捉えつつ地域の拠点であることを反映して、精緻にまとめていただいているように思う。</li> </ul> |